



地区テーマ
地域にやさしさを
ロータリーに活力を

本クラブテーマ
平常心でロータリーを

国際ロータリー第2800地区 鶴岡ロータリークラブ

第2501回(本年度第41回)例会 2010. 6. 8

●例会日/毎週火曜日(12:30~13:30)

●例会場/東京第一ホテル鶴岡

鶴岡市錦町 2-10 Tel. 0235-24-7611

クラブホームページアドレス <http://www.tsuruokarc.org/>

会長報告

富樫 松夫

●6月1日 2500回の記念例会として、例会終了後にお祝いを兼ねて呈茶会を開催しました。20名の方から参加して頂きました。有難うございました。小林会員にはおいしいお茶を点てて頂き、感謝しております。

今日のショートスピーチはチャレンジ25とライフサイクルアセスメント(LCA)等について話をしたいと思います。

チャレンジ25とは

2010年1月14日よりスタートした地球温暖化防止のための新たな国民運動。2005年4月に京都議定書の目標達成に向けてスタートした「チーム・マイナス6%」が生まれ変わったもの。さらなるCO2の削減を目指して、より積極的なチャレンジを国民に広く呼びかけ、具体的な行動を加速させるのが狙い。2009年9月、鳩山内閣総理大臣が国際会議の場で、温室効果ガス排出量を2020年までに25%削減(1990年比)することを明言したことを受けてスタートした。チャレンジ25では、「6つのチャレンジ」と「25のアクション」を通じてCO2の少ない生活スタイルを提案。家庭、オフィス、地域での個人および企業の行動指針を示している。

ライフサイクルアセスメント(LCA)について

企業が提供する製品やサービスのライフサイクル全体を通じて、環境に与える影響を定量的に評価(アセスメント)すること。企業は、原料の調達から、製品の設計、製造、利用、廃棄、回収に至るまで、あらゆる工程で環境になんらかの負荷を与えていると考えられる。たとえば、原料に必要な資源の採掘、

製造工程や輸送工程での温室効果ガスの排出、廃棄処理時の有害化学物質の発生などである。このような影響を評価し、その結果を製品の環境性能の改善や、ビジネスプロセスの見直し、環境経営などに反映していくことが求められる。

ライフサイクルデザイン(LCD)について

企画から生産、利用、廃棄・リサイクルに至るまで製品の全ライフサイクルに対して、経済性、技術性、市場性と同様に「環境配慮性」を考慮していくアプローチ。生産過程、消費過程などライフサイクルの各過程における資源投入と廃棄物排出を適切に管理することで、最初から廃棄物が出ない、出にくい生産方式、あるいは出ても処理しやすい人工物の使用を含めた設計を行い、循環型の工業生産を目指す。その構築には、設計学、製品開発工学からエネルギー工学、資源工学まで、幅広い分野の知識が要求される。

幹事報告

阿部 純次

○ガバナーエレクト事務所

クラブ管理運営セミナー開催の案内

日時:7月3日(土) 登録開始12:30~

場所:ほほえみの宿 滝の湯(天童)

登録料:1,000円

○日本平ロータリークラブ

台中港区扶輪社との統盟について

○東京海上日動火災保険株式会社

石田裕治君帯広へ転勤

○出羽庄内国際村交流財団

H22年度第1回評議委員会の開催について

6月22日(火)15時~ 出羽庄内国際村

6月は...

ロータリー親睦活動月間



出席報告

会員数	37名
出席	29名
出席率	85.29%
前々回確定出席率	82.86%

■R1会長/ジョン・ケニー ■地区ガバナー/佐藤豊彦 ■会長/富樫松夫
■会長エレクト/佐藤孝子 ■副会長/青柳孝治 ■幹事/阿部純次 ■会報委員会/榎野隆博・石田 雄

事務局:鶴岡市馬場町11-63 鶴岡産業会館3階 TEL (0235) 28-3375 FAX (0235) 28-3376
E-mail:tsuruoka08@rid2800.jp

ゲストスピーチ「コミュニケーション力」

(NPO) スターティング・プレース 代表 高橋 徹 氏

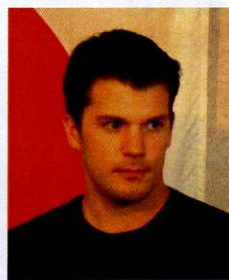
こんにちは。鶴岡に映画村ができ、「まちなかキネマ」もでき、映画の復興が図られていると感じます。今年は黒沢明監督生誕 100 年にあたります。本や DVD が出ておりますし、フランスやアメリカでも監督の特集を計画しています。私は国際交流のコーディネーターをしており、特に日米の交流を長くやってきました。黒沢監督が「赤ひげ」の制作以降、日本では制作できない環境におかれ、そこでアメリカ進出を企てたことがありました。しかしうまくいきませんでした。20 世紀フォックスの「史上最大の作戦」が大ヒットしました。これは大西洋のお話。そこで太平洋の話も作ろうということになり、日本側の監督は黒沢明を抜擢、タイトルは「トラ!トラ!トラ」です。結果は失敗に終わり、黒沢は気違い扱いされました。その事が記された資料がアメリカで発見され、ドキュメンタリーが作られて賞もとりました。そこには何故そのような事が起きたかの実態が詳しく描かれています。

その話をしようと思っていましたが、今日は空軍士官学校の日本語を勉強されている 12 名の学生をこのヒックマンさんが連れてこられて、鶴岡を中心に日本語と日本文化をホームステイしながら学んでいます。アメリカの軍隊というものは奥行きも幅も大変広いということを感じています。卒業して民間へ出て行く方も大勢います。言語を含めあらゆる研究をしています。先程の黒沢監督の話は日本側にアメリカの実態を知るスタッフが一人もいなかったということを言いたかったのです。アメリカの制作者に黒沢の立場、黒沢の映画作りの方法を、きちんと説明することが出来なかったことが悲劇を生んだ一つの要素だと思います。コミュニケーション力が如何に大事かということです。彼らはその力を養うために来日しております。彼らのホームステイに関しては樋渡先生始め皆様に大変お世話になりありがとうございました。

庄内の印象

ザック・ヒックマン

こんにちは。私はザック・ヒックマンです。私は日本語教師です。僕の学生は日本語を勉強し始め



たばかりなので、まだ日本語はよく分かりません。2 週間前学生と一緒に庄内に来ました。最初はみんな緊張していましたが、今はホストファミリーと本当の家族のようになりました。温海では、しな織りや

焼き物、筍掘や蕎麦打ちをしました。麻耶山にも登りました。筏を作りました。お酒もいただきました。本当においしかったです。

私は全ての大陸に行きました。山形県は特別です。海と山と親切な人。学生の皆もここが大好きです。ホストファミリーとの会話は非常に大事だと思っています。私たちの来日に際し、お力をお貸し頂きありがとうございました。

委員会報告

地区青少年交換小委員会

富田喜美子

6 月 4 日・5 日、天童で来日学生の送別会が行われました。アメリカからの学生は今週末、フランスからの学生は来週末に帰国します。皆様のご支援ありがとうございました。

出席委員会

● ゲスト

高橋 徹 氏

(NPO 法人スターティング・プレース代表)

ザック・ヒックマン氏

(米国エアーフォースアカデミー日本語教師)

● ビジター

増山氏 (酒田ロータリークラブ)

メイクアップされた方

小林 健郎 真島 吉也 藤川 享胤 樋渡美智子
塚原 初男 本間 厚 加藤 賢 本間喜美子
青柳 孝治 阿部 純次 富樫 松夫 富田喜美子
加藤 恒介 牧 衛 嶺岸 禮三 阿蘇 司朗
斎藤 昭 佐藤 孝子 菅原 亨 田中 豊
越智 茂昭 加藤 亨 早寄 弘

● スマイル 😊

富樫松夫君 高橋さん、2 回目のお話有難うございました。機会ありましたらまたお出でください。

佐藤孝子君 高橋さん次回も楽しみにしています。

ヒックマンさん庄内を楽しんでいってください。

5/30 に東京米山友愛 RC の認証状伝達式に出席してきました。400 名近い方が集まり素晴らしい感動を受けてまいりました。